



# れんごう ふくおか

No. **305**

RENGO FUKUOKA

2016年1月5日発行  
発行：日本労働組合総連合会福岡県連合会  
発行人：西村芳樹 編集人：上野茂伸  
〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル  
TEL.092-283-5529 FAX.092-283-5611  
連合福岡のホームページ  
<http://www.rengo-fukuoka.jp/>  
連合福岡のメールアドレス  
[info@fukuoka.jtuc-rengo.jp](mailto:info@fukuoka.jtuc-rengo.jp)

2016

賀 正



写真提供：情報労連 NTT労組九州総支部  
松尾 庄造氏

# 新春インタビュー

連合福岡の先頭に立つ高島喜信会長に、今年の課題と決意を聞きました。私達への問題提起として、各々考えていただければと思います。

**(質問) 明けましておめでとうございます。2016春季生活闘争を前にして、政治と経済の状況をどのように押さえておくべきでしょうか。**

皆さん、おめでとうございます。

政府は「日本を世界で一番企業が活躍しやすい国にする」など、労働者保護ルールの改悪をはじめとした規制緩和を強引に推し進めています。こうした「人を犠牲にした経済成長」は、一部の企業の短期的な利益をもたらしても、持続可能で自律的な経済・社会の発展にはつながりません。



昨年秋、日銀は追加緩和を見送りましたが、安倍政権も一段の円安に繋がる追加緩和は求めています。その理由は、円安による輸入製品の値上がりで物価が上がり、一般の消費者や中小企業に不満が募ってきたからです。夏の第24回参議院選挙にマイナスとの判断もあるでしょう。

また新たに、道筋も財源も不明確な「1億総活躍」とか、「GDP 600兆円」と言い出しています。経団連会長さえ首を傾げる安倍総理の経済全体の実相を見ない言葉に踊らされては、持続可能な安心ある社会の実現はできません。

連合は、社会・経済の活力の原動力であり、付加価値創造の源泉である「働くこと」の価値を高め、働く者が安心して働き続けられる環境整備こそが成長戦略の核心であると指摘しています。短期的な利益追求に偏った企業運営から、生産性三原則の考え方や企業倫理を重んじる企業運営への転換を求めていくことが重要です。

**(質問) 春季生活闘争を進める上で私達が考えるべきことを説明下さい。**

2016春季生活闘争は、「総合生活改善闘争」の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合が社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たす闘争であることを連合中央委員会で確認しました。

円安効果もあり、マクロ的に言えば輸出主導の企業で

は賃金が上がっています。他方、全国の労働者の7割（福岡県8割）が働く中小企業の賃金は必ずしも上がっていません。多くの国民は財布の紐を固くし、生活防衛に動くという心理が強くなっています。景気の動向を無視した来春の消費税率アップの影響もあるでしょう。

安倍政権も経営者団体に対し、国内投資の促進や賃金の引き上げを求めています。中小企業で働く労働者にも経済の好循環が実感できなければ、我が国の安心・安定は築けないと判断しているのでしょうか。お年寄りを中心に3万円を配る「臨時給付金」も、自公が各々政策的に綱引きをした軽減税率も、繰り返しますが夏の参議院選挙を意識しているのは間違いありません。

私達は、春季生活闘争が持つ日本全体の賃金決定メカニズムを活かしつつ、とりわけ中小企業で働く仲間や、非正規労働者の処遇改善に向け、より主体的な闘争を進めていかなければなりません。かつ大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動に挑戦することが極めて重要です。組合員の皆さんには、組合員であるかどうかを問わず、パート・アルバイト等で働いている人達も含めて、自分達の組合は何を要求し、どういう職場を築こうとしているかを分かりやすく示しながら、一緒に声を上げようと呼びかけて欲しいと思います。

**(質問) 日本の人口減少は、年代を問わず不安を醸している問題です。どう考えればいいでしょうか。**

昨年9月の製造業の就業者データでは、1961年6月以来、54年ぶりの低い水準ということが報じられています。人口減で国内市場が細るといふ懸念が、日本企業の国内回帰を慎重にさせているという分析のようです。



つまり、「少子超高齢化」という課題に本気で向き合わない限り問題は解決しません。今から本格的に取り組んだとしても、結果が出始めるのは20年以上先と思われるだけに一刻の猶予もない筈です。人口減少に歯止めをかけることに成功したフランスなどの政策を真剣に検討し、日本の政策に活かす取り組みは待たなすです。付け焼刃の「女性の社会進出・登用促進」では解決しません。まずは、結婚しても働き続けられる社会の構築が喫緊の課題だと思います。

政治の在り方が大きく影響するだけに、日本の政治にどう働きかけるか、どう政治を変えるかという運動とセットで議論し、行動に繋げることが大切です。

**(質問) 「少子超高齢化」と言われましたが、これからの雇用展望をどう描けばいいのでしょうか。**

期待されている介護を含む医療・福祉に関する産業は前年比で34万人増えています。10年前比較では4割増だそうです。それでも介護は、仕事がきつい割に賃金が低いので、恒常的な人員不足が続いています。毎月勤労統計調査(14年)によれば、平均の現金給与総額は、製造業が382,193円に対し、医療・福祉は、293,517円だそうです。

この分野で働く人の賃金をどう引き上げるのか、人が人に対し直接サービスを行う仕事だけに、その価値にふさわしい賃金水準を定めるには何をとり組んで行くべきか考えなければなりません。これも春季生活闘争で意識すべき重要な課題と認識しています。

**(質問) 昨年の第18回連合福岡定期大会で、「立憲主義がないがしろにされる危機に直面した。労働運動にとっても看過できない重要な事態である」と挨拶されました。この危機感をお聞かせ下さい。**

連合は安全保障関連法案の審議にあたり、国民の理解と合意形成を得る努力が極めて重要であることを再三指摘してきました。しかし政府は、「国民の理解が進んでいるとは言えない」と公言していたにもかかわらず、異常かつ不誠実な形で強引に法案の成立を図ったのです。

権力の座にある者が、恣意的・便宜的に憲法の精神・主旨をねじまげれば、過去の過ちと犠牲の上に培ってきた立憲主義・民主主義の否定です。この点は断じて許せない、戦後最大の民主主義の危機だと思いつい熱が入りました。

闘いはこれからです。政権の動きに我々が機敏に反応し、民主主義を守るための声を継続して上げ続けなければなりません。

今年は大きな節目となる闘いが、夏の第24回参議院選挙です。各構成組織が擁立した組織内候補の当選と、選挙区での推薦候補「古賀ゆきひと」さんをはじめ、民主党を軸とした候補の当選者数をなんとしても増やすことです。組合員の皆さんの結集が欠かせません。

**(質問) 重要だが大変難しい課題に組織拡大があります。どう進めたらいいでしょうか。**

昨年度6,003名の仲間が連合に加盟されました。結果を出していただいた構成組織に敬意を表します。

社会に目を向ければ、雇用不安や将来不安を感じている人は少なくありません。その不安を払拭するには、ワークルールや社会保障、税制など、産業・企業の壁を越えた取り組みが不可欠であり、「社会の不条理に立ち向かい、職場や地域で働く者の頼りになる存在」への潜在的ニーズは高いはずですが、そうした人たちの心に連合の発信するメッセージが届いておらず、課題解決の選択肢として認識されていないことに最大の課題があると分析しています。

この点を各々が考え、各構成組織では何をすべきか。連合福岡と各地域協議会は何をすべきかの議論を深め、三位一体での運動を広げ、仲間を増やす行動に繋いで欲しいと思います。

お気づきの組合員もいらっしゃるかと思いますが、今、西鉄とJRの両電車のドアに、「連合福岡」と表示したステッカーを貼っています。働く上で困っていることがあれば何でも相談して欲しいというメッセージです。是非、「連合に相談しろよ!」と、皆さんの口から、友人・知人に知らせて欲しい。それが、組織拡大の一步に繋がると確信しています。

**(質問) 最後になりますが、会長が各構成組織で尽力されている役員・組合員に、一番送りたいメッセージは何ですか?**

身体の疲れ、心の疲れはないですか。気力は満ちていますか。「痛み」などの身体の悲鳴に気づいていますか。適切な対応を優先して欲しい。家族共に健康があつてこそ人生の幅、楽しみが広がります。仕事への意欲も健康なくして生まれません。健康の度合は個々人で異なるでしょうが、自分の身体の声は注意深く聴いて欲しいと思います。



2016年が、皆さんにとって、健康で充実した一年となることを心から祈念するとともに、皆さんと一緒に各課題に全力で取り組むことをお約束し年頭の挨拶とします。ありがとうございました。

# 連合福岡事務局（内局）紹介



組合員のみなさん、明けましておめでとう  
 ございます。「働く事を軸とする安心社会の  
 実現」に向け、共に頑張っていきたいと思います。  
 本年も、どうぞよろしくお願い致します。

【下段左より】

- 副事務局長 田井 孝二 (組織・政治局)
- 会 長 高島 喜信
- 事務局長 西村 芳樹
- 副事務局長 川崎 智樹 (政策・労働条件局)

【上段左より】

- 政策・労働条件局 次長 山口 朋宏
- 総務局 局長 上野 茂伸
- 組織・政治局 次長 権藤 英樹
- 政策・労働条件局 局長 豊福 明子



久保しのぶ 職員      吉村 涼 職員      永田 孝子 職員



## 謹賀新年

本年も九州ろうきんを  
宜しく願い申し上げます。

九州労働金庫福岡県本部  
役職員一同

<http://kyusyu.rokin.or.jp/>  
九州ろうきん

つかえるろうきん みんなのろうきん  
**九州ろうきん**

ZENROSAL NEWS  
40152013



## 謹賀新年

支えあうことの安心を、  
さらに多くの皆さまへ

本部長  
品川 浩二  
役職員一同

保障のことなら  
**全労済**  
全労済は、福利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

**全労済福岡県本部**  
(福岡県労働者共済生活協同組合)

ホームページアドレス  
<http://www.zenrosai.coop/fukuoka>